

令和元年度 事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人...チョウタリイの会

1 事業の成果

- 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」については、タイにおいて HIV 感染者を家族に持つ子どもたちへの就学等の支援を行いました。同事業は、1996年に当会の代表理事である山口悦子が個人的な活動として HIV に母子感染をした子どもへの支援を始めたことをきっかけに 1998 年より当法人の正式な事業として今日まで継続して行っております。近年タイにおいては、急激に経済が発展し物価が上昇して貧富の格差が拡大しています。貧富の格差は、国民を分断し対立を引き起こし同国の社会問題となっています。さらに貧困ゆえに教育を受けることができず、次世代においても貧困となってしまう貧困の連鎖を生み出しています。また HIV 感染者を家族に持つ家庭は、概して生活に困窮している場合が多く、それらの子どもたちは、学校に通ことも難しい状況となっています。貧困の連鎖を止めるためには、子どもたちへの教育が必要であり、当法人では HIV 感染者を家族に持つ子どもたちを里子として支援し、学校に通うための教育費等の就学支援、文具、生活物資等の提供を行い、子どもたちと手紙での交流を行っています。それらの手紙には子どもたちが学校に通う喜び、親が定期的に診療を受けることができるようになったことなどが記されています。子どもたちに教育の機会さえも与えることができない社会は、公正な社会ではないと思料します。この活動を行うことにより、子どもたちが未来に希望を持ち、貧困、格差、紛争のない平和で公正な国際社会の実現をめざしたいと思います。
- 「ネパールの教育保健支援」においては、教育支援としてネパールの公立学校の新校舎、サラスワティ・ベーシック学校にノート等の文具を寄贈しました。両校は、2015年に発生したネパール大地震において校舎が損傷するなどの大きな損害を受けました。またサラスワティ・ベーシック学校においては、2019年7月の豪雨災害により大規模な土砂崩れが起き、校庭が喪失し既存の校舎も完全に使用不能の状態になってしまいました。現在は、他の場所に建物を賃貸してその場所で学校を運営しています。両校とも、僻地の公立学校であるために国からの教育に関する予算が乏しく、また生徒の家庭も経済的に貧しく、文具等の教育資材を十分に購入することができません。それらの問題は、ネパール国内における教育格差の一因となっています。同支援活動は、子どもたちの日々の勉強に欠かせない文具を提供することにより、子どもたちの学力の向上を図り、またネパール国内の教育格差の解消につなげたいと思います。
保健支援としては、これまでに現地カウンターパートとの間で小児がん等の子どもたちへの精神的支援及び生活物資の提供、また僻地医療のための救急車の購入支援等を行ってきました。当期においては、ネパールの僻地における医療格差の解消をはかるため貧しい人には無料で診療を行うための医療の拠点となるコミュニティ・クリニックの開設に向けての協議を現地カウンターパートとの間で行いました。
- 「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人が 2010 年より行っている「ネパールにおける公立学校新校舎建設支援プロジェクト」の 23 校目のハヌマン学校（カブレパランチョーク郡ドゥリケル市 11 区）、24 校目のサラスワティ・ベーシック学校（ラリトプル郡ゴダワリ市 6 区）の 2 校の新校舎が完成しました。



ハヌマン学校の旧校舎



ハヌマン学校 新校舎建設中の様子



完成したハヌマン学校の新校舎



サラスワティ・ベーシック学校の旧校舎



サラスワティ・ベーシック学校 新校舎建設の様子



完成したサラスワティ・ベーシック学校の新校舎

先述した通り両校は、2015年に起きたネパール大地震においてほとんどの校舎が損傷し、教室として使用するには非常に危険な状態となってしまいました。また、雨季においては雨漏れ等の問題が起こり、安全面のみならず衛生面においても授業が円滑にできない状態でした。また、生徒数に対して教室の数が不足し、実質的には学校に通えない子どもも多くいました。

当プロジェクトは、大地震後にネパール政府が新たに制定したガイドラインに基づき校舎を耐震構造により建設しました。



豪雨により土砂崩れが発生し校庭が喪失



新校舎の隣の旧校舎は完全に倒壊



2019年7月14日15日にラリトプル郡を含むネパールの広範囲においてモンスーンによる豪雨によってサラスワティ・ベーシック学校は、ネパール大地震以上の大きな被害を受けてしまいました。

旧校舎前面の校庭は、土砂崩れのため喪失し、旧校舎の教室、事務所が破壊されてしまいました。建設中の新校舎の前面にも土砂が押し寄せ、新校舎の隣にあった旧校舎は完全に倒壊しました。

新校舎は耐震構造による基礎工事を施していたので建物が倒壊することなく、倒木の接触により屋根を少し損傷した程度ですみました。

当法人では、現地スタッフ、カウンターパートと連絡を取り、また、教師、SMC（学校運営委員会）のメンバーと協議して、子どもたちの安全を第一に考えた上で学校を守る最善の方法を探りました。また、行政とも協議を行い、今後の方針を検討し、同校及び地域のインフラが復興した時点で新校舎を使用して当地において学校を再開する予定としています。

現在は、同校より徒歩10分ほど離れた場所に民間の建物2棟と公共の建物1棟を一時的に借り受けて学校を運営しています。

同事業の成果として、ハヌマン学校においては、新校舎が完成したことで教室不足の問題がほぼ解消し、これまで教室不足のために学校に通えなかった子どもたちが学校に通うことができるようになりました。

また、校内の環境が安全になり、天候に左右されることもなく雨天でも円滑に授業を行うことができるようになりました。

サラスワティ・ベーシック学校については、豪雨災害のため新校舎での授業は行うことができない状態となっています。しかし、同じ場所にあった旧校舎が倒壊したにもかかわらず新校舎が無事に残ったことは、耐震構造による校舎建設の重要性を実証しました。新校舎が無事であったことは、当該地域の人々に希望と勇気を与えています。いつか、当地において同校が再開することをめざして子どもたちも仮の校舎で勉強しています。

当プロジェクトは、学校環境を改善し、子どもたちに安全に教育を受ける機会を与えることにより、ネパールの大きな問題である、貧困の連鎖、安価な労働力としての他国への出稼ぎ労働、児童労働、人身売買等の人道的に看過できない問題の解消をめざしています。

- 新校舎建設支援活動に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」及び「緊急災害支援」として校舎が完成したハヌマン学校、サラスワティ・ベーシック学校の新校舎開校式、引渡式に出席しました。



ハヌマン学校での開校式



サラスワティ・ベーシック学校での引渡式

開校式及び引渡式には両校とも、生徒、教師、地域の人々そして市議会議長などが出席して、日本とネパールの歌や踊り、生徒や教師との折り紙の講習などを行いました。生徒たちに学用品、折り紙のコマなどをプレゼントしました。

また両校には、奈良市ボランティアインフォメーションセンターで集めていただいた奈良市の方々のご寄附の折りたたみ傘、タオルを寄贈しました。

なお、サラスワティ・ベーシック学校においては、緊急災害支援として豪雨災害支援金を寄附し、パソコン、プリンター、衣服等の支援物資を寄贈しました。当地では、多くの人々が被災し、犠牲者も出ている状況です。引渡式では歌や踊りも控えめに行われました。また、当地の復興を祈り同校の生徒たちと共に寄せ書きを作り、日本語で「私たちはいつも一緒にいます」英語で「We are with you」ネパール語で「हामी तपाईं सँगै छौ」と書きました。これらの活動において、日本とネパールの友好を深めることができました。



パソコンとプリンターを寄贈

- 「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、ネパールでの女性の自立支援を行っている団体ACPを訪問し女性たちが制作した製品を購入し事業の協力を行いました。
- 「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、機関紙「チョウタリ通信」及び「チョウタリ」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。また、当期においても当法人役員が大阪産業大学において国際ボランティアについての講義を行いました。これらの活動を通して、多くの人たちに海外の状況、ボランティア等の実情を知ってもらい平和で公正な国際社会の構築の必要性を感じてもらえたものと思います。
- 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の Hug²祭り 2019 に参加しました。当法人の活動を知って頂くことができました。
- 「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援については、当法人が以前より支援活動を行っている日光市の女性グループにおいてクラフト製品の制作支援及び製品の購入を行いました。クラフト製品の品質が向上し制作に関する支援はほぼ必要ないものとなりました。当法人では、製品を購入しバザーで販売することによって協力支援を行っていきたいと思います。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額 (千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10人	422
	ネパールの僻地の公立学校2校に文具等の支援及びコミュニティ・クリニック開設のための協議を行った。	2月	ネパール カブレパランチョーク郡 ラリトプル郡 ダヌシャ郡	3名	当該地域住民等	289
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校2校の新校舎が完成した。	通年	ネパール ラリトプル郡 カブレパランチョーク郡	3名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等	3,726
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	インドネシアにおいて貧しい妊婦には無料で助産する助産院への支援を行った。	3月	インドネシア バリ州	1名	当該地域の住民等	16
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	当期は実施しない					0
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	ネパールにおける自立を目指す人々への技術指導及び製品の紹介。	通年	ネパール ラリトプル郡 奈良市	3名	生産者及び授産施設で働く人々 約30人	258
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	当期は実施しない					0
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウ	事業活動についての講演を行った。	通年	大阪市 奈良市	3名	支援者 約500人	32

ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	機関紙「チョウタリィ通信」「チョウタリィ」を作成した。	6月12月	奈良市	2名	不特定多数	89
	大学において国際ボランティアについての講義を行った。	6月から1月	大東市	2名	大阪産業大学の学生 約200人	4
社会教育及び政策提言事業	当期は実施しない					0
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	Hug ² 祭り 2018 に出展した。	12月	奈良市	4名	来場者多数	11
災害復興協力事業	東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。	通年	日光市 奈良市	3名	被災地の女性 約10人	142
	ネパール豪雨災害で被災した学校に支援金及びパソコン、プリンターを寄贈した。	通年	ネパール ラリトプル郡 ゴダワリ市6区	4名	学校及び周辺住民 約6,000人	282
国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおける新校舎完成の公立学校2校の開校式、引渡式に出席し、日本とネパールの交流を深めた。	2月	ネパール ラリトプル郡 カブレパランチョーク郡	4名	校舎建設地域の子どもたち、住民教師等 約1,000人	1192

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	当期は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	当期は実施しない。	実施せず			0

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。